

令和2年度

子どもの力と意欲を伸ばすキャリア教育実践交流協議会

【参考資料】



- 未来をえがく キャリア・ノート！活用・指導の手引（抄）
- キャリア・ノートに関するQ&A
- 小・中学校 キャリア教育全体計画例・年間指導計画例
- 令和2年度 小学校各教科等単元配列表例
- 令和3年度 中学校各教科等単元配列表例

令和2年10月8日（木）  
大分県教育庁義務教育課

未来をえがく

キャリア・ノート！

活用・指導の手引



(

)

しょうがっこう  
小学校

(

)

ちゅうがっこう  
中学校



なまえ

大分県教育委員会



平成29年3月に告示された学習指導要領第1章総則において、

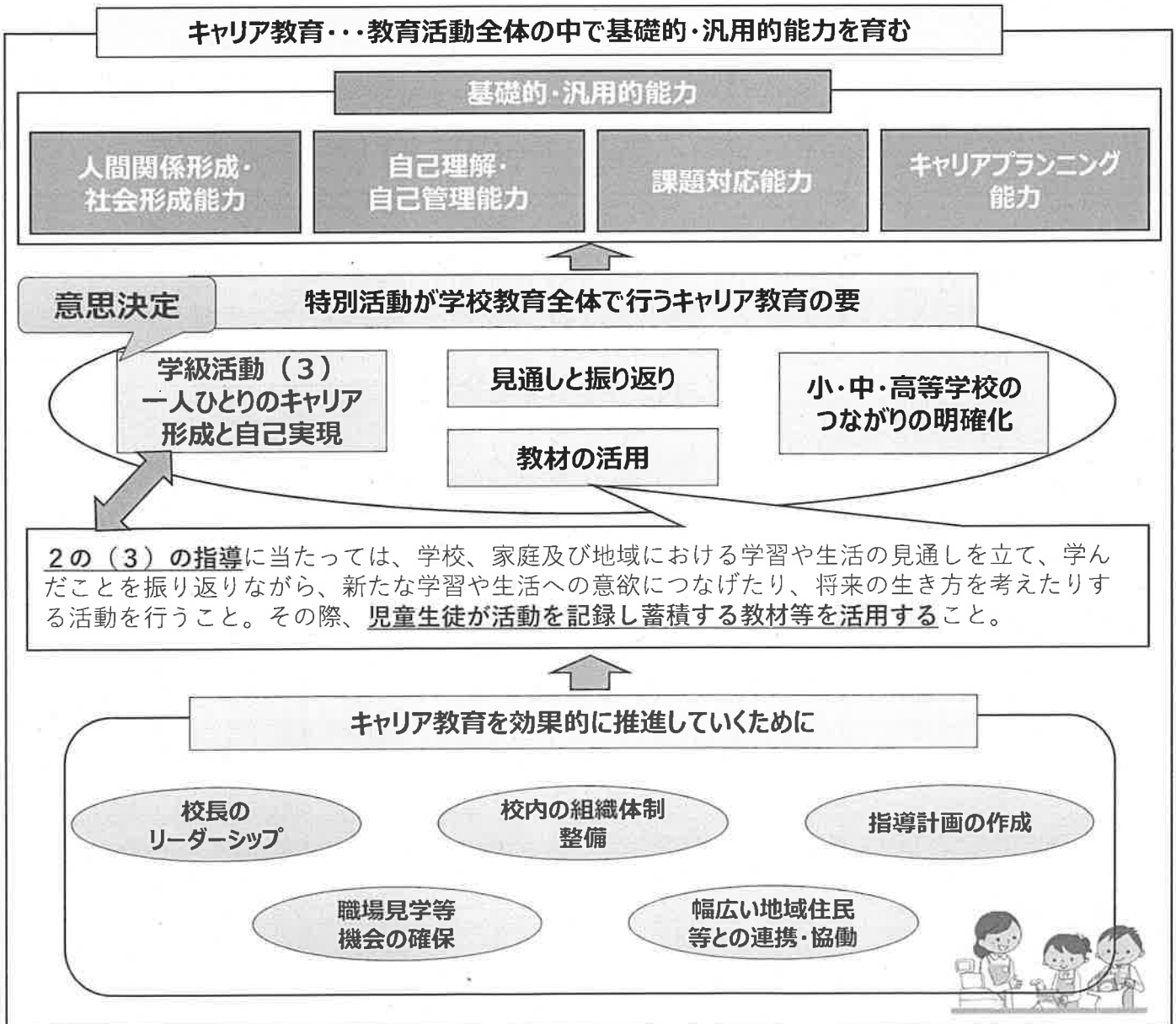
【第4 児童生徒の発達の支援】

児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要しつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。（その中で、生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うこと。）※（ ）内は中学校

と規定され、キャリア教育の要となる特別活動の学級活動の内容に「(3)一人ひとりのキャリア形成と自己実現」が設けられました。

キャリア教育を効果的に展開していくためには、特別活動の学級活動を要しながら、総合的な学習の時間や学校行事、道徳科や各教科における学習、個別指導としての教育相談等の機会を生かしつつ、学校の教育活動全体を通じて必要な資質・能力の育成を図っていく取組が重要です。

また、将来の生活や現実の社会と関連付けながら、見通しをもったり、振り返ったりする機会を設けるなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めることがキャリア教育の視点からも求められます。





## キャリア・ノートとは？

### 学習指導要領 第6章特別活動 第2の3 内容の取扱い（3）

2の（3）の指導に当たっては、学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うこと。その際、**児童生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること。**



○振り返って気付いたことや考えたことなどを、児童生徒が記述して蓄積する、いわゆるポートフォリオ的な教材のようなものを活用することを示している。

○特別活動での実践や各教科等における学習過程に関することはもとより、学校や家庭における日々の生活や、地域における様々な活動なども含めて、教師の適切な指導の下、児童生徒自らが記録と蓄積を行うとともに、それらを振り返りながら、新たな生活や学習への目標や、将来の生き方などについて記録していく教材のこと。

キャリア・ノートは、児童生徒の進級・進学時に次の学年・上級学校に持ち上がり、小学校から高等学校まで継続的かつ系統的に蓄積していきます。

#### キャリア・ノートを活用することの意義

教育活動全体で行うキャリア教育の要としての特別活動の意義の明確化

小学校から中学校、高等学校へと系統的なキャリア教育の推進に寄与する

児童にとって・・・自己理解を深めるためのもの  
教師にとって・・・児童生徒理解を深めるためのもの



学習指導要領解説特別活動編（小学校：P81～P83、中学校P71～73）

指導に当たっては、キャリア教育の趣旨や学級活動全体の目標に照らし、書いたり蓄積したりする活動に偏重した内容の取扱いにならないようにする配慮が求められます。また、プライバシーや個人情報保護に関しても適切な配慮を行うことが求められます。





## キャリア・ノート活用の意義や効果は？



### ① 児童生徒の自己理解を深める

キャリア・ノートは、児童生徒にとって、自己理解を深めるためのものになります。

学習や生活の「見通し」を持ち、「振り返り」を積み重ねることで、児童生徒は自分の変容や成長を自覚することができます。それを基に、教師と対話したり、児童生徒同士と話をしたりすることを通して、自分自身のよさ、興味・関心など、多面的・多角的に自己理解を深めることができます。

### ② 教師による児童生徒の理解を深める

教師にとっては、「キャリア・ノート」を通して、児童生徒一人ひとりの様々な面に気づき、児童生徒自身の自己の見通しに寄り添った関わりを通じて、理解を深めることができます。

また、各教科等の学習や学校行事等を計画・実践する中で、資質・能力が育成されているかを見取るツールとなります。

### ③ 主体性・協働性を育む

「キャリア・ノート」の活用を通して、育成すべき資質・能力を軸に学校の教育活動をつなげることで、学びに向かう力を構成する主体性や協働性等を育むことができます。

### ④ 児童生徒への関わり方を家庭と共有する

保護者との個人懇談等の資料として活用することなどを通して、児童生徒一人ひとりのキャリア発達を促す関わり方について共有することができ、学校と家庭が連携を深めることにつながります。

### ⑤ 系統的なキャリア教育の充実につながる

小学校から高等学校までの各段階で内容を蓄積していくことを通して、発達段階に応じた系統的なキャリア教育の充実につながります。

また、学年間・校種間連携の資料として活用できます。

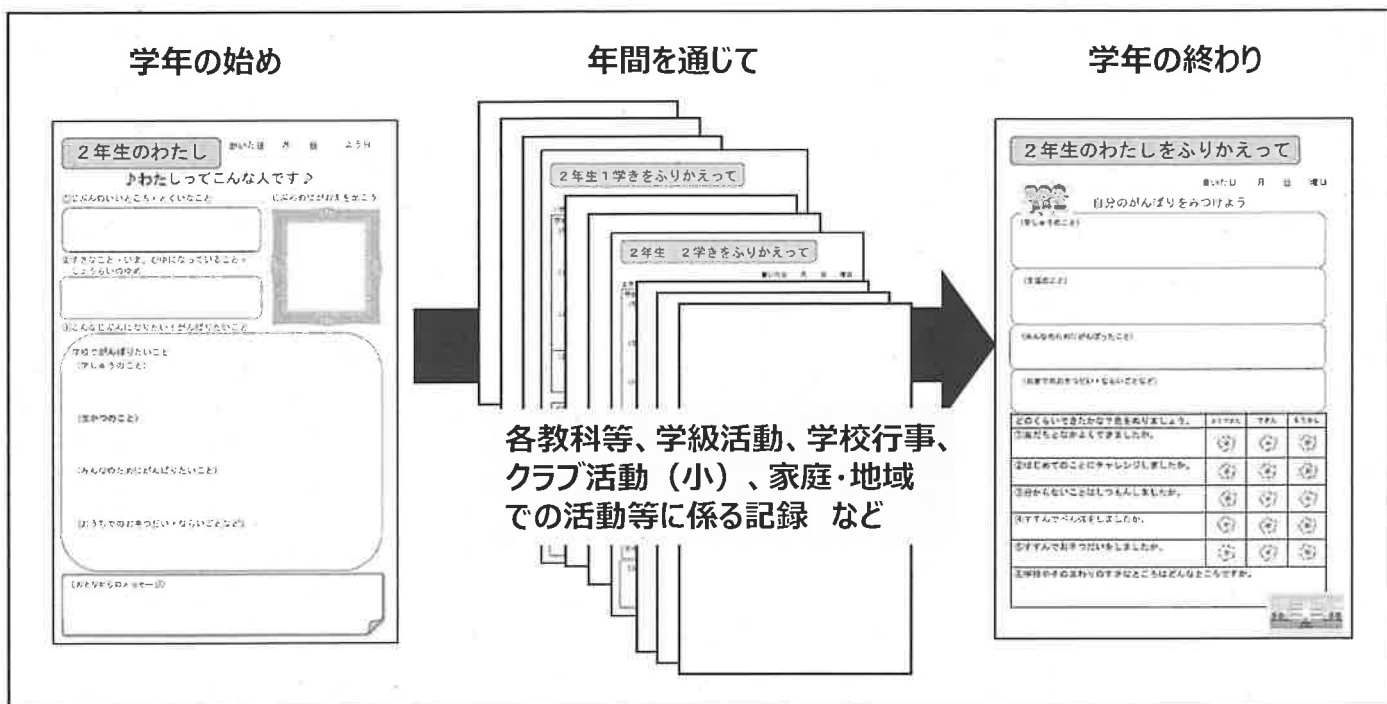
### ⑥ カリキュラム・マネジメントに役立つ

教育活動全体における学校行事や総合的な学習の時間、特別活動の位置付けが明確になるため、カリキュラム・マネジメントの評価・改善の材料として活用することができます。



## キャリア・ノート活用方法や内容は？

- 「キャリア・ノート」は、各学年の初め、学期末、学年末に活用することを基本とします。
- 各学年の初めに今の自分や将来の展望、今年度の目標等を考えます。
- 各学期・学年の終わりに今までの自分を見つめ直し、目標の実現状況等を確認します。  
記述されたものを活用して、今年度の振り返りを行います。
- 振り返りを行うための基礎資料として、日常的に児童生徒の活動の記録等を蓄積しておきます。
- 記述や自己評価の指導には、教師が対話的に関わり、一人ひとりの目標作成や修正などを支援します。  
肯定的に関わり、個性を伸ばす指導を心がけながら、学校・家庭・地域における学びを自己のキャリア形成に生かそうとする態度を養っていきます。



- 児童生徒が自ら記入し、学期、学年、入学から卒業までの学びを見直し、振り返るとともに、将来を展望することができるような内容で構成しています。
- 「キャリア・ノート」で扱うのは、学校生活全体及び家庭、地域における学びを含む内容となります。そのため、教科の学習のみ、学校行事等のみの自己評価表とならないよう、①教科での学習、②教科外での学習、③学校外の活動などを含めた見直しや振り返りができるような内容としています。
- 自己有用感の醸成や自己変容の自覚に結び付けられるように、周りの大人（家族や教師など）からのコメントを記入する欄を設けています。家庭等の負担に配慮しつつ、各学校の実情に応じて、誰にコメントを書いてもらうかを検討してください。





## 振り返りの資料となる活動の記録の蓄積は？



- 学校では、これまでも「〇〇ノート」や「〇〇の振り返り」などとして「キャリア・ノート」に類する教材や各教育活動に関する活動で各校が用いているワークシートを作成・活用してきました。それらは、キャリア・ノートの基礎資料となる活動の記録として活用が可能です。  
(日頃から蓄積しているものを活用)
- 蓄積に当たっては、「キャリア・ノート」の様式を基に、学年や入学から卒業までの中・長期的な振り返りと見通しができるよう留意します。
- キャリア教育は、学校の教育活動全体で取り組むものであり、それぞれの取組が学級活動に偏らないよう留意することが大切です。教科等や学校行事等での取組も考えられます。



キャリア・ノート以外にも、活動の記録を蓄積していかなければならないのですか？



みなさんの学校では、学校行事のあとや総合的な学習の時間などに振り返りを児童生徒が書いていませんか？それを蓄積・活用するとよいです。



なるほど！今、実践していることを蓄積・活用すればいいのですね。例えば、宿泊学習のしおりに記入した振り返りも基礎資料になりますか？



十分活用できるものとなります。その際、宿泊学習のねらい（めあて）を明確にして、振り返りを書けるように支援していくことが大切です。



これまで担任した学級では、年度初めに自己紹介カードを教室に掲示したり、学期末や学年末に振り返りの時間を設けたりしてきましたが、それらの取組もつながりますか？



それらは、まさに「キャリア・ノート」そのものです。また、児童生徒の活動の記録にもなりますね！

### 【振り返りの資料となる活動の記録蓄積のポイント】

- キャリア教育は学校の教育活動全体で取り組むものであり、「キャリア・ノート」は児童生徒一人ひとりの学びや育ちを「轍」として蓄積するものです。
- 各学校においては、これまでの教育活動で取り組んできたことをキャリア教育の視点からとらえ直しつつ、これまでの取組を生かすことが大切です。



# 小学校・中学校における活用イメージは？



- 「キャリア・ノート」は、児童生徒一人ひとりの“自己理解の深まり”や“自己実現に向けた意欲の高まり”などを継続的・系統的に支援していくために、小学校から中学校卒業までの9年間、引き継いでいきます。
- 学年・校種を超えて指導に活用し、学びの見通しや振り返りに生かしていきます。
- 学校段階を超えて、将来への展望や見通し、自身のキャリア形成に生かせるようにしていきます。
- 各学校においては、「キャリア・ノート」を活用し、児童生徒一人ひとりのキャリア発達を支援することが大切です。

【キャリア発達についての捉え方（平成14年 国立教育政策研究所生徒指導研究センター）】

小学校	中学校	高等学校
進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期	現実的探索と暫定的選択の時期	現実的探索・試行と社会的移行準備の時期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己及び他者への積極的関心の形成・発展</li> <li>・身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上</li> <li>・夢や希望、憧れる自己イメージの獲得</li> <li>・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的自己理解と自己有用感の獲得</li> <li>・興味・関心等に基づく勤労観、職業観の形成</li> <li>・進路計画の立案と暫定的選択</li> <li>・生き方や進路に関する現実的探索</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解の深化と自己受容</li> <li>・選択基準としての勤労観、職業観の確立</li> <li>・将来設計の立案と社会的移行の準備</li> <li>・進路の現実吟味と試行的参加</li> </ul>

小学校

### 3年生のわたし

記入日 月 日 曜日

♪わたしってこんな人です♪

①自分のいいところ・とくいなこと こんな3年生になる！せんせい

年度始めに目標を書き、1年間の見通しをもちます。学期末や年度末に書いたものと比べ、振り返ります。

③こんな自分になりたい！ そのためにすることはこれ！

（学ぼう）  
自分の考えを発表できるようにになりたい

まずは好きな算数で、どんどん手をあげる！

### 6年生の私をふり返って

記入日

なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふり返りましょう  
がんばったことをくわしく書こう

（学習） まちがいをおそれないで、自分の考えを発表するようにした。

（生活） 誰とでも仲よく行動できるように、すすんで声をかけた。

（学級）  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

（手紙・習い事・資格など）  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

6年間分を読み返すと、何が好きで、何をがんばってきたかが分かりました。

中学校

### 中学校2年生の私

記入日 月 日 曜日

①今の自分を見つめて  
今の自分「自分のよいところ・自分の好きなこと・もの、得意なこと・もの、頑張っていることなど」を自己表現しよう

こんな大人になりたい（将来の夢）

そのために、行きたい方

②なりたい自分になるために身に付けたいこと（目標）と、そのために取り組みたいこと

学習面の目標  
苦手な教科を克服する

そのために  
先生に質問する  
家庭学習時間を確保する

### 中学校2年生の私を振り返って

記入日 月 日 曜日

自分の気持ちや行動に一歩近づくところに○を付けよう

項目	達成度	達成度	達成度	達成度
1. 友だちや先生の言葉を聞き、自分の考えや気持ちを伝えようとしたか。				
2. 授業が得意な科目のように得意な科目、自分の考えや気持ちを伝えようとしたか。				
3. 自分から自分の考えや気持ちを伝え、仲間と協力して取り組もうとしたか。				
4. 自分以外の意見や考え、意見が相手や仲間と共有しようとしたか。				
5. 夢や希望がかなわない現実と向き合おうとしたか、自分や学校生活に思いやりをもち、頑張ろうとしたか。				
6. 決断や思いやりの表現など、自分自身の考えや気持ちを伝えようとしたか。				
7. 自分から意見を述べようとしたか、自分の考えや気持ちを伝えようとしたか。				
8. 自分から意見を述べようとしたか、自分の考えや気持ちを伝えようとしたか。				
9. 自分から意見を述べようとしたか、自分の考えや気持ちを伝えようとしたか。				
10. 自分から意見を述べようとしたか、自分の考えや気持ちを伝えようとしたか。				

○この1年間を振り返って、頑張ったことを書こう

学習面  
学業面  
学習面以外  
その他（習い事・資格など）

高等学校へ

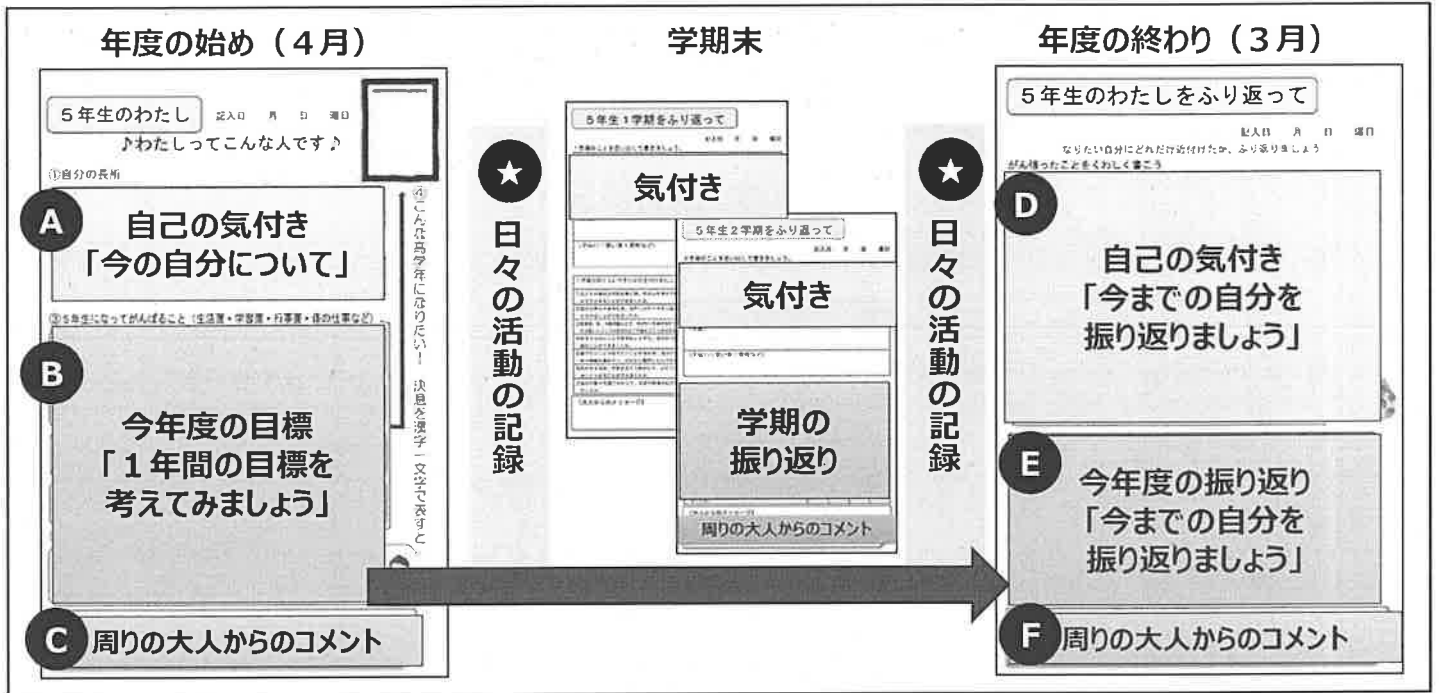




## 「キャリア・ノート」を活用する時期は？



学習指導要領解説特別活動編（平成29年7月）なども確認して、ご指導ください。



○キャリア・ノートの構成は、次の通りです。

- ◆【年度の始め】に記入するページ・・・A・B・C
- ◆【学期末】に記入するページ
- ◆【年度の終わり】に記入するページ・・・D・E・F
- ◆キャリア・ノートに振り返り等を記入する際の基礎資料となる、「日々の活動の記録」・・・★

「○年生のわたし」と「○年生（○学期）のわたしをふり返って」が「キャリア・ノート」です。それをつなぐ日々の活動の記録の蓄積がポイントです。





# 「キャリア・ノート」を活用する時期は？



年度の始め（4月）「キャリア・ノート」（A・B・C）の活動

## 4月 【〇〇年生のわたし】 今の自分・今年度の目標・将来への展望

5年生のわたし 記入日 月 日 曜日

「わたしってこんな人です」

①自分の長所

**A** 自己の気付き  
「今の自分について」

②今年度になってがんばること（生活科・学習・行事・行事・行事など）

**B** 今年度の目標  
「1年間の目標を  
考えてみましょう」

③周りの大人からのコメント

④「〇〇年生のわたし」に添いたい！  
決意を漢字一文字で表すと

**A**

- ◆ 学級活動（3）一人ひとりのキャリア形成と自己実現
- ◆ 特別の教科 道徳
- ◆ （生活科）総合的な学習の時間
- ◆ その他の教育活動

**B**

※各教科等の特質及びねらい、学習過程を踏まえる。

**C**

家族や教師などのコメント

※「キャリア・ノート」の意義やねらい、活用イメージについて  
事前に保護者にも説明し協力を依頼する。

A・Bをそれぞれ異なる時間で取り組むことも考えられる。

### ◆【年度の始め】に記入するページ・・・A・B・Cについて

○A「今の自分について」 B「今年度の目標」を記入する時間としては、

- ・学級活動（3）一人ひとりのキャリア形成と自己実現 の時間
  - ・特別の教科 道徳
  - ・生活科や総合的な学習の時間
  - ・その他の教育活動 が考えられます。
- その際、各教科等の特質やねらい、学習過程を踏まえることが大切です。  
A・Bをそれぞれ異なる時間で取り組むことも考えられます。

○C「周りの大人からのコメント」欄には、児童生徒がA・Bを記入した後に、家族や教師からのコメントを記入します。

- ・保護者には、「キャリア・ノート」の意義やねらい、活用イメージについて、事前に説明し協力を依頼しておくことが大切です。
- ・大人が対話的に関わり、児童生徒のキャリア発達を促すことが重要です。児童生徒の実態を踏まえ、誰にコメントをもらうか設定します。



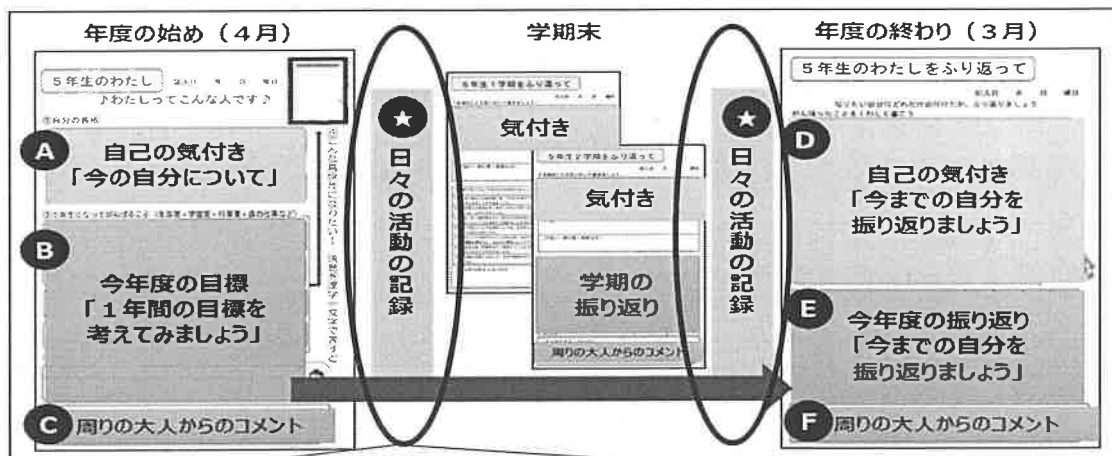
各学校において、すでに取り組んでいることと重なる部分があります。  
「〇〇年生のわたし」をどの時間に・どのように記入し、活用するのかイメージしておくことが大切です。



# 「キャリア・ノート」を活用する時期は？



年間を通じた「日々の活動の記録」の蓄積



4月～3月（学期ごと）



日々の活動の記録

【学校行事】

- ・運動会 ・学習発表会 ・修学旅行
- ・宿泊学習 ・校外学習 等

生活科・総合的な学習の時間

- ・生活科の内容（1）～（9）
- ・体験活動（職場体験等）
- ・探究的に学習してきた内容 等

特別の教科 道徳

各教科等

学級活動、クラブ活動、児童（生徒会）活動

学校や家庭・地域生活

## 【★日々の活動の記録】について

○P5でも説明していますが、キャリア教育は、学校の教育活動全体で取り組むものです。各教科等や学校行事等での取組も考えられます。

○各学校では、これまでも、学校行事や各教科等、特別活動、その他の学校生活等において、日常的に振り返り等を記録していると思います。それを基礎資料として活用できるように蓄積しておきます。学期末や学年末にキャリア・ノートを記入する際、児童生徒が蓄積しておいた基礎資料の中から自由に選択し、「○○のわたしを振り返って」の記述に生かします。

○これまでも取り組んでいたこと、日常的に取り組んでいたことを、基礎資料として活用するのです。



キャリア



# 「キャリア・ノート」を活用する時期は？



学期末・学年末の「キャリア・ノート」(D・E・F)の活動

学期末  
学年末

【〇〇のわたしを振り返って】 期末・年度の振り返り (自己の気付き・将来展望)

5年生のわたしを振り返って

記入日 月 日 曜日

やりたい自分にどれだけ近づけたか、振り返りましょう

みんなのわたしのことをおもしろく書こう

**D** 自己の気付き  
「今までの自分を振り返りましょう」

**E** 今年度の振り返り  
「今までの自分を振り返りましょう」

**F** 周りの大人からのコメント

**D**

- ◆ 学級活動 (3) 一人ひとりのキャリア形成と自己実現
- ◆ 特別の教科 道徳
- ◆ (生活科) 総合的な学習の時間
- ◆ その他の教育活動

**E**

※各教科等の特質及びねらい、学習過程を踏まえる。

**F**

家族や教師などのコメント

D・Eをそれぞれ異なる時間で取り組むことも考えられる。

## ◆【年度の終わり】に記入するページ・・・D・E・Fについて

- D・Eは「今までの自分を振り返る」もので、記述したり、○を付けたりします。記入する時間としては、
  - ・学級活動 (3) 一人ひとりのキャリア形成と自己実現 の時間
  - ・特別の教科 道徳
  - ・生活科や総合的な学習の時間
  - ・その他の教育活動 が考えられます。

その際、各教科等の特質やねらい、学習過程を踏まえることが大切です。

D・Eをそれぞれ異なる時間で取り組むことも考えられます。

- できるようになったかだけでなく、できるようになるために児童生徒が努力したことを肯定的に捉えることができるような言葉かけが大切です。

- F「周りの大人からのコメント」欄には、児童生徒がD・Eを記入した後に、家族や教師からのコメントを記入します。

・児童生徒に近い存在である大人からのコメントが児童生徒に与える影響は大きいです。児童生徒の家庭状況に配慮しつつ、保護者からコメントを書いてもらうよう、事前に依頼しておくことが大切です。児童生徒の努力やがんばりを認める等、励ましたり、背中を押したりする言葉かけを意識します。

◆ 活動の記録を蓄積したり、「キャリア・ノート」を記入したりするだけでなく、それらを用いて話し合う活動などを取り入れるとより効果的な振り返りになります。

◆ 「キャリア・ノート」を「書かせて終わり」とするのではなく、日々の教育活動の中で育成される「振り返る力」と「キャリア・ノート」を関連付けることを意識することが重要です。各学校が日常的に取り組んでいる、各教科等や様々な教育活動で自身の考えを振り返ったり、表現したりする機会を活用することが考えられます。





## 「キャリア・ノート」活用・指導上の留意点は？



### ①「キャリア・ノート」の管理について

- 「キャリア・ノート」の管理は、原則として学校が行ってください。
- 「キャリア・ノート」には個人情報が含まれる場合があるため、紛失しないよう十分留意してください。

### ②教師等との対話、児童生徒同士の話し合いを大切にする

「キャリア・ノート」を用いて、できる限り大人（家族や教師など）が対話的に関わるようにしてください。  
また、教師が記録を活用してカウンセリングを行うなど、児童生徒の理解や一人ひとりのキャリア形成に努めることが重要です。書かせて終わりではなく、児童生徒のがんばりを教師等の大人が認めているというメッセージを返すことも有効です。  
ただし、特別活動の内容である学級活動の時間の中で、個別の面接や面談を実施することは、学習指導要領の内容と合わないため適切ではありません。

### ③指導する時に配慮すること

「キャリア・ノート」は、学習活動で活用することから、日常の活動記録やワークシートなどの教材と同様に次のような指導上の配慮が必要です。

- ◆ 児童生徒の個々の状況を踏まえ、本人の意思とは異なる記録を強いたり、無理な対話に結び付けたりしないようにすること。
- ◆ たとえば、書くこと等支援が必要な児童生徒には個に応じた適切な対応を行うようにすること。
- ◆ 学年間・学級間で「キャリア・ノート」の活用や指導状況に差が生じないようにするため、学年会等において適宜進捗を確認するようにすること。
- ◆ 「自己への気付き」「自己の振り返り」等、主に児童生徒の自己評価が中心であるため、「キャリア・ノート」の記述や取組状況をそのまま学習評価としないこと。

### ④配慮を要する児童生徒への対応

特別支援学級に在籍する児童生徒、通級による指導を受ける児童生徒、特に特別な配慮を要する児童生徒については、個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた記録・蓄積・指導となるよう配慮してください。

### ⑤保護者への周知と協力の依頼

「キャリア・ノート」の取組については、学校だよりなどにおいて、保護者に周知してください。その際、キャリア・ノートは「小学校入学から中学校卒業まで、その後の進路も含め、児童生徒のキャリア形成の過程を記録し、学校段階を超えて活用することを目的とするため、進学先の学校に持ち上がっていくこととなる」旨を伝えてください。

また、必要に応じて児童生徒への言葉かけを行ったり、コメントを記入してもらうようにするなどの依頼を行ってください。



## 「キャリア・ノート」はどのように引き継げば？



### ① 学年間

学校で管理することから、原則として教師間で行うようにしてください。

### ② 校種間（小→中、中→高）

#### ① 県内の公立学校に進学する場合（小学校→中学校）

原則として、小学校卒業時に進学先の中学校ごとにとりまとめ、児童が進学する中学校へ提出するようにしてください。確実に引き継ぐため、教師間で行うようにしてください。

#### ② 県内の県立学校に進学する場合（中学校→高等学校等）

原則として、中学校卒業時に、「キャリア・ノート」を生徒に返却し、生徒自身が保管します。

県立高等学校のキャリア・ノートに、中学校時代の振り返りを書くページがあるので、それを書くときの参考とすることが考えられます。

#### ③ 国立学校、他県の公立学校、私立等の学校に進学する場合

卒業時に「キャリア・ノート」を児童生徒に返却し、児童生徒自身が保管します。進学先の学校からの指示があれば、それに沿って対応するようにします。

### ③ 転出・転入等

転出する児童生徒に「キャリア・ノート」を返却し、転入する学校に提出するよう指示をしてください。

また、転入してきた児童生徒には、転入前の学校で作成した「キャリア・ノート」の提出を必ず指示してください。

### ④ 引き継ぎ対象

「キャリア・ノート」のみを引継ぐこととします。

原本を引継ぎ、写しを学校において保管する必要はありません。

なお、児童生徒の進学先・転学先の学校から「キャリア・ノート」以外の教材（活動の記録等）の提供を求められた場合は、当該の児童生徒の実情に応じて、学校間で相談してください。

## 「キャリア・ノート」の記入に際しての留意点

---



○次のページから、各学年における「キャリア・ノート」の記入・活用に際してのポイントを示しています。

○それぞれの項目における記入・活用についてご確認ください。

## 「未来をえがくキャリア・ノート！」を掲載しました



掲載日：2020年6月1日更新

### 未来をえがくキャリア・ノート！

大分県教育委員会では大分県版キャリア・パスポート「未来をえがくキャリア・ノート！」を作成しました。

「キャリア・ノート」は、児童生徒が考えたことや思ったこと、頑張ったことなどを書き残し、自らの成長を振り返ることができるノートです。このノートは小学校1年生から中学校3年生まで活用し、高校にも引き継いでいきます。担任の先生や保護者の方は、「キャリア・ノート」に書かれた内容を児童生徒理解に役立てていただき、子どもたちの健やかな成長の一助となれば幸いです。

各小中学校への配付は6月以降を予定しています。

[未来をえがくキャリア・ノート！](#) [PDFファイル/5.67MB]

### 未来をえがくキャリア・ノート！ 活用・指導の手引

大分県版キャリア・パスポート「未来をえがくキャリア・ノート！」の活用・指導の手引を作成しましたので公開します。

各学校におかれましては、手引を参考に、キャリア・ノートの活用をお願いします。

★[未来をえがくキャリア・ノート！活用・指導の手引](#) [PDFファイル/7.56MB] （令和2年6月1日更新）

★[活用・指導の手引（概要）](#) [PDFファイル/455KB] （令和2年6月1日更新）

### この情報に関連する情報

[国立教育政策研究所 指導資料・事例集](#)

[国立教育政策研究所 進路指導・キャリア教育の更なる充実のための実践に役立つ資料](#)



PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe社が提供するAdobe Readerが必要です。

Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。（無料）

### この情報に関するお問い合わせ先はこちらです

#### 義務教育課

〒870-8503

大分市府内町3-10-1（県庁舎別館6階）

義務教育指導班

Tel：097-506-5529 Fax：097-506-1795

<http://www.pref.oita.jp/site/gakkokyoiku/kyarinote.html>



# キャリア・ノートに関するQ&A



令和2年10月  
大分県教育庁義務教育課

「キャリア・パスポート」の活用と、学習指導要領の規定の関係は、どのように考えればよいでしょうか。



学習指導要領では、特別活動の学級活動（3）の内容である「一人一人のキャリア形成と自己実現」の指導の際に、「児童生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること」として、「キャリア・パスポート」の活用を求めています。



「キャリア・パスポート」の活用は、学習指導要領上は、特別活動の学級活動に関わる内容の取扱いに規定されていることに留意してください。「キャリア・パスポート」を書くだけの時間にしないことが大切です。

すでに学級活動等で児童生徒の振り返りや活動の記録等を記入して、蓄積していますが、それを活用することも可能ですか。



各学校等において、学期・学年を見通して、めあてなどを立てたり振り返ったりする記録や、学校行事の振り返りなど、すでに行われている取組を生かしたり、基盤にしたりして、各地域・各学校の実情に応じ、柔軟にカスタマイズして活用することもできます。



大分県が配布した「キャリア・ノート」に、各学校で使用した振り返り等の記録を貼り付けていくなどの取組も考えられます。

特別支援学級では、「キャリア・パスポート」の作成に際して、どのような点に配慮すればよいでしょうか。



特別支援学級においても、小・中・高等学校同様、学習指導要領の規定に従い、「キャリア・パスポート」の活用に取り組む必要があります。

例えば、児童生徒の障がいの状態や特性等により、児童生徒自らが活動を記録することが困難な場合などにおいては、「キャリア・パスポート」の目的に迫る観点から、児童生徒の障がいの状態や特性、心身の発達の段階等に応じた取組や適切な内容を個別の教育支援計画や個別の指導計画に記載することで、「キャリア・パスポート」の活用にも代えることも可能とされています。



個別の教育支援計画や個別の指導計画が作成されていることのみをもって、「キャリア・パスポート」の活用にも代えるということではありません。あくまでも、その内容が「キャリア・パスポート」の目的に沿っているかどうか留意してください。

キャリア・パスポートを校種間で引継ぎをすることの意義には、どのようなものがあるでしょうか。



小・中・高等学校の新学習指導要領総則において、「児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要として各教科・科目等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。」と規定されています。



特別活動においては、学級活動に「一人一人のキャリア形成と自己実現」が設けられており、小・中・高等学校のつながりを明確にしたキャリア教育の充実が求められています。

このようなことから、「キャリア・パスポート」についても小・中・高等学校の校種間で引き継いで活用することが有効と考えられます。各学校においては、学習指導要領の関連の規定等を踏まえ、それぞれの学校・地域の実態に応じて、キャリア教育の視点での円滑な校種間の接続を図っていただきたいところです。

大分県教育委員会が作成した「キャリア・ノート 活用・指導の手引き」には、校種間の引継ぎに際しての考え方を示しています。

「キャリア・パスポート」の紛失や、児童生徒の転出入があった場合には、どのように対応すればよいでしょうか。



大分県が示した「キャリア・ノート 活用・指導の手引き」には、キャリア・ノートの管理についての考え方を示しています。

キャリア・ノートには個人情報が含まれる場合があるため、原則として学校が管理することとし、紛失しないように十分留意してください。



転出に際しては、転出する児童生徒にキャリア・ノートを返却し、転入する学校に提出するよう指示してください。

転入してきた児童生徒には、転入前の学校で作成した（活用していた）「キャリア・ノート」の提出を、必ず指示してください。

## 小・中学校 キャリア教育全体計画・年間指導計画例の公開



掲載日：2020年9月10日更新

### 小・中学校 キャリア教育全体計画・年間指導計画例の公開

学校の教育活動全体を通じて取り組むキャリア教育の趣旨を踏まえ、キャリア教育で育成を目指す基礎的・汎用的能力を明示したキャリア教育全体計画及び年間指導計画例を作成しましたので公開します。

先日、各小・中学校に送付しました「未来をえがくキャリア・ノート！」及びキャリアノート活用・指導の手引とあわせ、各学校の実態に応じてご活用ください。

- ★ [キャリア教育全体計画例（小学校）](#) [Wordファイル/21KB] （令和2年6月17日公開）
  - ★ [年間指導計画例（小学校 低学年）](#) 令和2年9月4日更新 [Excelファイル/32KB]
  - ★ [年間指導計画例（小学校 中学年）](#) 令和2年9月4日更新 [Excelファイル/35KB]
  - ★ [年間指導計画例（小学校 高学年）](#) 令和2年9月4日更新 [Excelファイル/35KB]
- 
- ◆ [キャリア教育全体計画例（中学校）](#) [Wordファイル/20KB] （令和2年9月10日公開）
  - ◆ [年間指導計画例](#) [Excelファイル/47KB] （令和2年9月10日公開）

### この情報に関連する情報

[「未来をえがくキャリア・ノート！」を掲載しました](#)

### この情報に関するお問い合わせ先はこちらです

#### 義務教育課

〒870-8503

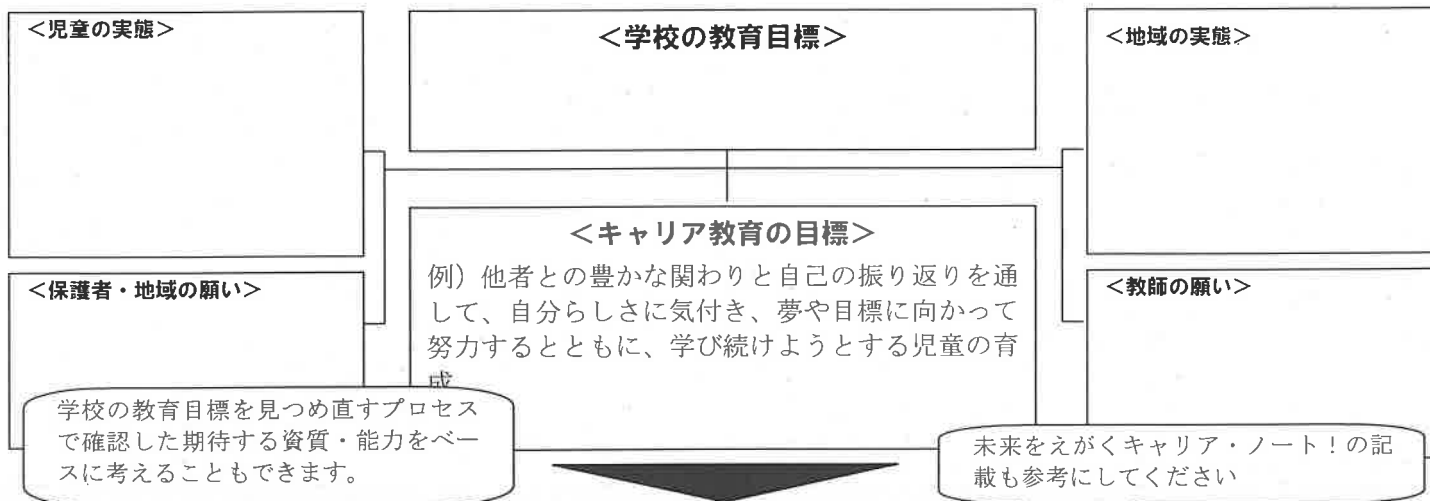
大分市府内町3-10-1（県庁舎別館6階）

#### 義務教育指導班

Tel : 097-506-5529 Fax : 097-506-1795

<http://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/career-keikaku.html>





<本校のキャリア教育で育成を目指す資質・能力（基礎的・汎用的能力）> (例)

進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期				
	低学年	中学年	高学年	特別支援
人間関係形成・社会形成能力	友だちの考えを聞き、よいところを見付け、仲良く活動しようとする。	友だちの考えを聞き、いいところを取り入れたり、違いを認めたりして、進んで活動しようとする。	友だちの考えや立場を認め、目的に向かって高め合おうとする。	集団に参加することができる。友だちと協力することができる。
自己理解・自己管理能力	活動の内容が分かり、最後までやり通そうとする。	やろうと決めたことは責任を持って最後までやり遂げようとする。	自分の仕事や活動に責任や見通しを持って最後まで取り組もうとする。	仕事や役割を最後までやり通すことができる。
課題対応能力	知りたいことや興味のあることを進んで調べることができる。	いろいろな方法で調べ、自分の力で解決に向けて努力する。	多様な方法で情報を集め、見通しをもって主体的に、解決に向けて追究することができる。	見通しを持って、主体的に活動することができる。
キャリアプランニング能力	身近にいる人々の様子が分かる。	役割の大切さや活動の楽しさが分かる。	働くことの大切さややりがい、苦労が分かる。	役割の大切さが分かり、楽しく活動する。



<関連する各教科等の内容・指導等：自己の生き方の考えを深める学習へとつなぐ>

学級活動（3）・特別活動	各教科等	道徳教育・道徳科	総合的な学習の時間
◇現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 ◇社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ◇主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 ◆児童会活動 ◆学校行事 ◆クラブ活動 ◆キャリア・ノートの活用	◇学ぶことと自己の将来や社会づくりとを関連付けた指導 ◇学習の見通しをもたせるとともに、学習したことを振り返る活動の蓄積 ◇主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	◇自立心や自律性、生命を尊重する心や他者を思いやる心 ◇（学校として設定した重点内容項目との関連） ◇希望と勇気、努力と強い意志 ◇相互理解、寛容 ◇勤労、公共の精神 ◇よりよい学校生活、集団生活の充実 など	◇自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動 ◇地域の教育資源や地域環境、人材を積極的に活用した学習 ◇自分自身に関すること、他者や社会との関わりに関することの視点を踏まえた資質・能力の育成

<家庭・地域等との連携>

家庭での指導と連携	地域の人材の活用	社会教育施設の活用	地域の事業所	他校種との連携

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人間関係形成・社会形成能力 自己理解・自己管理能力 課題対応能力 キャリアプランニング能力		人 自 課 キ									
各教科		人 自 課 キ				人 自 課 キ			人 自 課 キ	人 自 課 キ	人 自 課 キ
学校行事		人 自 課 キ			人 自 課 キ		人 自 課 キ				卒業式
総合									人 自 課 キ		
特活		人 自 課 キ							人 自 課 キ		
道徳											
外国語											

友だちの考えや立場を認め、目的に向かって高め合おうとする。

自分の仕事や活動に責任や見通しを持って最後まで取り組もうとする。

多様な方法で情報を集め、見通しをもって主体的に、解決に向けて追究することができる。

働くことの大切さややりがい、苦労が分かる。



まちゼミへの参加を通して、地域の活性化について考えよう(70時間)

未来をえがくキャリア・ノート!の活用(日常の教育活動と関連付けて)

夢に向かって  
-三浦雄一郎-

めざせ百八十四  
-人-

広村堤防の  
-キ-

世界が驚く七分間廣播  
-自-

かつこいいちださん  
-キ-

働くことの意義  
-キ-

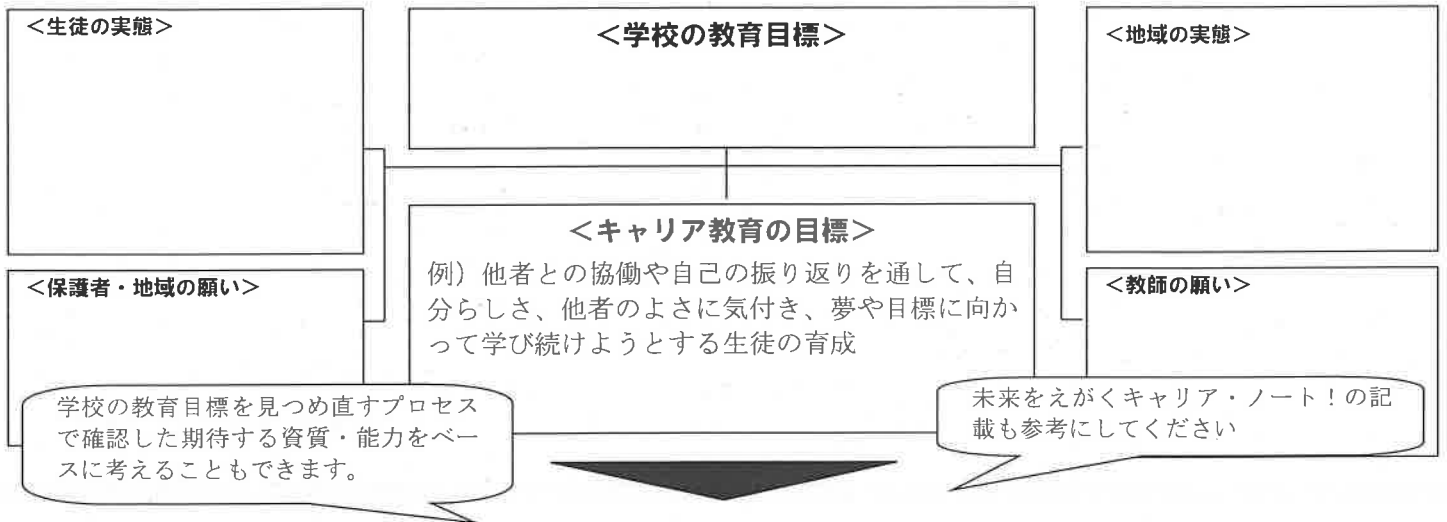
学校図書館の活用  
-人-

秋の遠足  
-人-

運動会  
-人自-

よりよい人間関係  
-人-

自  
係活動・当番活動  
-自-



＜本校のキャリア教育で育成を目指す資質・能力（基礎的・汎用的能力）＞ （例）

人間関係形成・ 社会形成能力	○自他のよさに気付き、自ら進んで豊かな人間関係を築こうとする。 ○他者の立場や考えを尊重し、学校生活、社会生活に意欲的に取り組む。
自己理解・ 自己管理能力	○自分の個性や適性に関心を持ち、自分らしさを発揮しようとする。 ○自己の適性に応じた職業について考え、将来の生き方に関心をもつ。
課題対応能力	○自らの生活や将来設計について課題意識を持ち、その実現方法を考え、意欲的に学び続けようとする。 ○取り組むべきことを自ら見付け、集団生活に進んで参加する。
キャリア プランニング能力	○自己の進路や生き方を考え、進路選択のための計画を立てることができる。 ○様々な体験での学びを、自己の生き方に対する考えや社会生活に必要な能力等の視点からまとめ、進路選択に活かす。

＜関連する各教科等の内容・指導等＞

学級活動（3）・特別活動	各教科等	道徳教育・道徳科	総合的な学習の時間
◇社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 ◇社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成 ◇主体的な進路の選択と将来設計 ◆生徒会活動 ◆学校行事 ◆キャリア・ノートの活用	◇学ぶことと自己の将来や社会づくりとを関連付けた指導 ◇学習の見通しをもたせるとともに、学習したことを振り返る活動の蓄積 ◇主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業改善	◇自立心や自律性、自らの弱さを克服して気高く生きようとする子心、法やきまりの意義に関する理解、自らの将来の生き方を考え主体的に社会の形成に参画する意欲と態度 ◇希望と勇気、克己と強い意志 ◇相互理解、寛容 ◇勤労 ◇よりよい学校生活、集団生活の充実 ◇よりよく生きる喜び など	◇自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動 ◇探究課題「職業の選択と社会への貢献」「働くことの意味や働く人の夢や願い」を踏まえた単元構想 ◇自分自身に関すること、他者や社会との関わりに関することの視点を踏まえた資質・能力の育成

＜家庭・地域等との連携＞

家庭での指導と連携	地域の人材の活用	社会教育施設の活用	地域の事業所	他校種との連携
上級学校との連携	NPO 法人、行政機関	学校の OB,OG		

令和〇年度 キャリア教育年間単元指導計画(例)

人	自	課	キ	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力										
各教科					【外国語】 My Dream 課	【国語】郷土のよさを伝えよう 課	【音楽】曲地と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう 人	【国語】説得力のある提案をしよう 人	【国語】依頼状やお礼状を書こう 人		【国語】話し合いで問題を検討しよう 人	【社会】地域の在り方 人	
学校行事	入学式 対面式	体育祭						修学旅行 人	文化祭			予備会	卒業式
総合				地区の特産品のよさを広く発信しよう！ (70時間) 人 自 課 人 自 課 人									
特活	人間関係づくり 人	体育大会に向けて 人 自己の適正 自		職業と生活 課	職業と生活 課	人生設計と進路 課 職場体験に向けて 課		学校図書館の活用 課			高等学校の仕組み 人	進路選択の吟味と後 人	
道徳	おばちゃんのかれたおまじない 人	五月の風 - ミカド 人		海と空 - 櫻野の人々 課				小さな工場の大きな仕事 人			コトコノ涙 人		

未来をえがくキャリア・ノート！の活用（日常の教育活動と関連付けて）



## 令和2年度用 小学校各教科等年間単元配列表(例)の公開

令和2年度から、小学校は新学習指導要領が全面実施となります。今次改訂においては、学校の教育目標の実現及び資質・能力の育成に向けた「カリキュラム・マネジメント」と「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進めることが重視されています。

「カリキュラム・マネジメント」の3つの側面のうち、「教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと(カリキュラム・デザイン)」「教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと(pdcaサイクルの確立)」を進めるため、大分県内各地区に対応した年間単元配列表(例)を作成しましたので公開します。

令和2年度 県内小中学校使用教科用図書 [PDFファイル/31KB] (令和元年10月7日更新)

各学校におかれましては、積極にご活用くださるようお願いいたします。ご使用前に、各教科等の内容をご確認の上、必要な修正をお願いいたします。

なお、令和2年度の第4学年社会科は、新しい教育課程に基づく教科書は供給されませんので、令和元年度の第3学年時に供給される3・4年下の教科書と令和2年3月配布予定の補助教材を併用しての指導となります。ご注意ください。

【各地区の単元配列表(例)】

地区	低学年	中学年	高学年
中津地区	<a href="#">低学年用(クリック)</a> [Excelファイル/68KB]	<a href="#">中学年用(クリック)</a> [Excelファイル/63KB]	<a href="#">高学年用(クリック)</a> [Excelファイル/64KB]
宇佐・高田地区	<a href="#">低学年用(クリック)</a> [Excelファイル/68KB]	<a href="#">中学年用(クリック)</a> [Excelファイル/63KB]	<a href="#">高学年用(クリック)</a> [Excelファイル/64KB]
別府地区	<a href="#">低学年用(クリック)</a> [Excelファイル/69KB]	<a href="#">中学年用(クリック)</a> [Excelファイル/64KB]	<a href="#">高学年用(クリック)</a> [Excelファイル/66KB]
杵築・国東・日出・姫島地区	<a href="#">低学年用(クリック)</a> [Excelファイル/69KB]	<a href="#">中学年用(クリック)</a> [Excelファイル/64KB]	<a href="#">高学年用(クリック)</a> [Excelファイル/66KB]
大分地区	<a href="#">低学年用(クリック)</a> [Excelファイル/67KB]	<a href="#">中学年用(クリック)</a> [Excelファイル/62KB]	<a href="#">高学年用(クリック)</a> [Excelファイル/62KB]
臼杵地区	<a href="#">低学年用(クリック)</a> [Excelファイル/67KB]	<a href="#">中学年用(クリック)</a> [Excelファイル/62KB]	<a href="#">高学年用(クリック)</a> [Excelファイル/62KB]
津久見地区	<a href="#">低学年用(クリック)</a> [Excelファイル/67KB]	<a href="#">中学年用(クリック)</a> [Excelファイル/62KB]	<a href="#">高学年用(クリック)</a> [Excelファイル/62KB]
由布地区	<a href="#">低学年用(クリック)</a> [Excelファイル/67KB]	<a href="#">中学年用(クリック)</a> [Excelファイル/62KB]	<a href="#">高学年用(クリック)</a> [Excelファイル/62KB]
佐伯地区	<a href="#">低学年用(クリック)</a> [Excelファイル/59KB]	<a href="#">中学年用(クリック)</a> [Excelファイル/64KB]	<a href="#">高学年用(クリック)</a> [Excelファイル/64KB]
竹田地区	<a href="#">低学年用(クリック)</a> [Excelファイル/59KB]	<a href="#">中学年用(クリック)</a> [Excelファイル/64KB]	<a href="#">高学年用(クリック)</a> [Excelファイル/67KB]
日田地区	<a href="#">低学年用(クリック)</a> [Excelファイル/69KB]	<a href="#">中学年用(クリック)</a> [Excelファイル/63KB]	<a href="#">高学年用(クリック)</a> [Excelファイル/66KB]
玖珠地区	<a href="#">低学年用(クリック)</a> [Excelファイル/61KB]	<a href="#">中学年用(クリック)</a> [Excelファイル/65KB]	<a href="#">高学年用(クリック)</a> [Excelファイル/65KB]

<http://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/r2-tangenhairesu.html>

教育委員会 > 教育庁各課・所 > 義務教育課 > 令和2年度用 小学校各教科等単元配列表(例)の公開



## 令和3年度 中学校単元配列表例の公開

令和3年度から、中学校は新学習指導要領が全面実施となります。今次改訂においては、学校の教育目標の実現及び資質・能力の育成に向けた「カリキュラム・マネジメント」と「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進めることが重視されています。

「カリキュラム・マネジメント」の3つの側面のうち、「教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと（カリキュラム・デザイン）」「教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと（PDCAサイクルの確立）」を進めるため、大分県内各地区に対応した年間単元配列表（例）を作成しましたので公開します。

★令和3年度 県内中学校使用教科用図書 [PDFファイル/31KB]

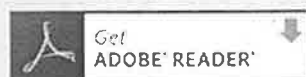
各学校におかれましては、積極的にご活用くださるようお願いいたします。ご使用前に、各教科等の内容をご確認の上、必要な修正をお願いいたします。

【各地区の単元配列表例】

- ★ 中津地区 [Excelファイル/80KB] (令和2年9月11日公開)
- ★ 宇佐・高田地区 [Excelファイル/80KB] (令和2年9月11日公開)
- ★ 別府地区 [Excelファイル/82KB] (令和2年9月11日公開)
- ★ 杵築・国東・姫島・日出地区 [Excelファイル/82KB] (令和2年9月11日公開)
- ★ 大分地区 [Excelファイル/81KB] (令和2年9月14日公開)
- ★ 臼杵地区 [Excelファイル/81KB] (令和2年9月14日公開)
- ★ 津久見地区 [Excelファイル/81KB] (令和2年9月14日公開)
- ★ 由布地区 [Excelファイル/79KB] (令和2年9月14日公開)
- ★ 佐伯地区 [Excelファイル/79KB] (令和2年9月11日公開)
- ★ 竹田地区 [Excelファイル/81KB] (令和2年9月11日公開)
- ★ 日田地区 [Excelファイル/79KB] (令和2年9月11日公開)
- ★ 玖珠地区 [Excelファイル/78KB] (令和2年9月11日公開)
- ★ 県立中学校 [Excelファイル/80KB] (令和2年9月11日公開)

### この情報に関連する情報

令和2年度用 小学校各教科等年間単元配列表（例）の公開



PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe社が提供するAdobe Readerが必要です。

Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。（無料）

<http://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/r3-tangenhairesu-jrhhigh.html>

教育委員会 > 教育庁各課・所 > 義務教育課 > 令和3年度 中学校単元配列表例の公開

